

検索

イベント情報

広告案内

## 「二子玉川 本屋博」 2日間で3万人以上が来場、個人書店など40店がブース出展

ニュース 出版 | イベント, 二子玉川, 北田博充, 本屋博, 蔦屋  
2020年2月6日



3万人以上が来場した本屋博の会場

### 【速報 (ヘッドライン)】

ニュース | 人事 | 決算 | 訃報 |

2/12 **新聞協会調べ 2020年元日号ページ数は市民タイムスが最多** **NEW**

2/12 **中央協が読者調査 新規勧誘時の景品類提供「2000円超」は13・7%に、前年より縮小** **NEW**

2/10 **料理レシピ本大賞 絵本賞を「子どもの本賞」に、準大賞も復活**

2/10 **岩波新書『独ソ戦』が新書大賞2020に4万部を緊急重版、累計12万部突破**

2/10 **新聞協会地域貢献大賞 今年度から5部門構成に、小山薫堂氏が新たに審査員**

2/10 **岐阜新聞社 「かべ新聞コンクール」表彰式 矢島社長「社会に出て役立つ」**

2/10 **新聞協会が意見書 デジタル広告市場の透明性「巨大ITが対応を」**

2/10 **デーリー東北新聞社が販売促進新年総決起大会 「四輪駆動」のワンチームで増紙にトライ**

2/10 **富士山マガジンサービスが米メレディスと代理人契約締結**

2/10 **文化通信フォーラム 大原ケイ氏が講演 「最新のアメリカ出版事情」**

一覧へ

## 北田博充氏のコメント

### 二子玉川を「本と出会える街」に

本屋博は、「本屋の魅力≡その本屋で働く人の魅力」だと考え、人(書店主・書店員)に焦点を当てたフェスです。

本をあいだに置き、人と人が会話をする場所にしたいと考えていましたが、各ブースでの濃密なコミュニケーションは想像以上で、会場を包み込む本を愛する人たちの熱気に感極まり、思わず涙ぐんでしまったほどです。

お客さん、出店者さん、イベント出演者さん、協賛企業さん、私たち実行委員、全員が幸せになれたフェスだったと感じています。

出版不況というネガティブな言葉は忘れて、本と人をつなぐ場所をつくることにポジティブに取り組んでいけば、まだまだたくさんの可能性があるかと確信しました。

今後は、もう少しあたたかい季節に、第2回目を開催できればと考えています。いくつかのサテライト会場を設けて、街ぐるみで本屋博を開催することで、ゆくゆくは二子玉川を「本と出会える街」にすることが今の夢です。



このイベントを企画した北田氏

## 主なブースと出店者の画像



自社製の「光和ビール」を販売した光和コンピューター